



Vol.10 ～～2010.8

おはようございます・こんにちは・こんばんは！！今年度二回目の渡鳥通信をお届けします。

長らく僕の気分を憂鬱にさせていた梅雨も明けたかと思えば、次に訪れたのは猛暑地獄。果たして今夏を無事に乗り切れるかどうか、いささか不安になっている今日この頃であります。

このメルマガを作成する一方で、大学はそろそろ学期末試験シーズンに突入しようとしています。人によっては練成よりもしんどいかもしれないこの期間には、部室でも悲痛な叫び声をしばしば耳にしますが(どこ吹く風のひとも一部いますが)、試験が終わったその先には夏休み、そして言わずもがな、ワングルの前期活動の総決算ともいえる夏合宿が待っています！！一回生にとっては初めての、リーダーズにとっては最後のワングルとしての夏を満喫するためには、まずは喫緊のテストという荒波を乗り越えねばなりません……

今回のメルマガでは報告することが目白押しです。六月に行われた一次予備、二次予備といったふたつの練成合宿について。部として出店した毎夏恒例の“夏祭り”の模様、そして部員紹介や、来る三次予備と夏合宿の山域・コースの紹介などをお伝えしてゆきます。

== Index ==

- 1次予備合宿の報告・感想
- 2次予備合宿の報告・感想
- 夏祭りの思い出
- 三次予備・夏合宿の紹介
- 部員紹介

=====

2010/6/5-6 1次予備合宿
～灼熱の六甲山～

一回生にとっては初めてとなる練成、一次予備合宿では6/5,6の土日を使って例年通り六甲山に行きました。当日は天気も上々すぎるほどで、阪急宝塚駅に到着した時にすでにしっとり汗ばむほど……そして甲子園大学付近の急坂の何ともキツイこと。初っ端からくじけそうになるひどい有様。その後は塩尾寺でお御籤を引いて各々喜んだり落ち込んだりしつつも無事一日目のサイト地に着きました。今回の合宿からテント泊が始まるので、一回生はテントをたてる練習に早速励みました。初めてテントの中で眠る一回生もいたはずですが、ぐっすり眠れたでしょうかね……

二日目はそこそこ長い行程。気持ちよく晴れた日でもあり、いずれのパーティーも順調に進んでゆきました。六甲山頂では OB さん方が、おにぎりやゼリー、饅頭、氷の欠片(!?)などの大量の差し入れを準備して待っていていただき、そのタイミングの良さとは心配りに、まるで頂上に降臨した天使たちと見紛うほどでした。本当に有難うございました！！

山頂を過ぎてからは、大量の登山客のかたがたに会い、改めて六甲山がポピュラーな山であることを実感。途中の風吹岩から下界を見下ろすと、遥かなる神戸の街並みが広がっていました。気の遠くなるほどの長さの石階段を降りてようやく着いたゴール・保久良神社でポリタンの水を互いにぶっ掛け合い、合宿は無事終了することができました。

今合宿では新歓とは違った、“練成”の雰囲気でも臨まなくてはならなかったのですが、一回生も二回生もその意味・意義を正しく捉えて、自分の目標をしっかりと定めて、二日間歩ききることができたと思いました。

(文 2 54 期 井田峻太)

=====



天気もよく、絶好の登山日和で楽しい合宿になると思いましたが、日中はかなり暑く、ポッカは26キロにまでアップして新歓の時とは比べものにならないほどきつかったです…。初日に塩尾寺でおみくじを引いた時に、自分だけ凶が出たのでショックでした…。一層山行中は気をつけようと気合を入れました。

2日目はコースリーの田村さんが記録的な速さで進むのでバテバテ…。ただ六甲山頂の景色と下山してからの王将の餃子のおいしさには感激しました。

二次予備に向けてまた頑張ろうと思いました。

(法 1 55 期 伊藤俊輝)

新歓合宿は遊び程度とは聞いていましたが今回の合宿でその意味がよくわかりました。ポッカ練で26キロのポッカは体験していたのですが実際の山行は全く別物でした。はじめの方、僕はザックを体に密着させておらず、腰ベルトも緩く、肩にかなりの負担をかけていたので先輩に指摘されるまでかなり苦しみました。重装備での山行ではザックの背負い方や歩き方などが本当に大切なだと身をもって体験しました。

初のテント泊は近くの老人ホームからの謎の歌声に苦しめられなかなか寝られなかったです。保久良神社でポッカ解放した時の水かけはチョー気持ちよかったです。王将での飯は言うまでもなく最高でした。山行の厳しさやグループの一員としての責任を学び、たくさんの収穫があった合宿でした。



(工 1 55 期 矢達高大)

新歓合宿と違い、今回は初めての練成合宿で、覚悟を決めて参加しました。開始30分程で、暑さと予想外のハイペースにより虫の息になり、初日は3時間しか歩いてないのに関わらず、かなり狼狽していました。テントでの初睡眠は、思ったとおり不快適であり良く眠れず、2日目の朝には、まるで徹夜したような疲労感。まだ日が昇って無い中での撤収作業、やはりワングラーは朝から忙しい。

2日目は、とことん歩き、とことん歩き…まさか11時間も歩くことになるとは思いませんでしたが、到着したときの喜びは、それはもう凄いものでした。次はもう少し景色がよい山に登りたいと思いました。

(基 1 55 期 五十嵐尋)



2010/6/26-27 2次予備合宿
～1回生のゴア、きれいだし撥水も効いてて羨ましい～

比良山系での2次予備合宿、初日は集合時から就寝時までずっと雨が降っていました。1回生(55期)にとって、雨に降られたのはこの合宿が初めてであり、防水が甘くてシュラフが濡れてしまったり、雨の中、ワークタイムを切れるまで何度も幕営をさせられるなど、なかなか大変な合宿だったのではないかと思います。2日目は雨こそあがったものの、木戸峠からクロトノハゲまでに多数ある栈橋が、雨で大変滑りやすくなっており、神経をすり減らしながらの下りとなりました。危険な橋を落ち着いていくつも渡り終え、歩荷で疲労も最高潮に達し・・・精神的にも肉体的にも鍛えられた合宿になったと思います。

(医2 54期 田村真佐美)

=====

二次予備では天候が悪く、ポッカも28キロに増え一次予備よりもはるかに大変でした。日ごろのトレーニングで体力をつけておかないと次の3次予備では最後まで歩ききれないな、と痛感しました。そして雨の中の外ワークは初めてで手順もあやふやだったので、目標の時間を切ることが出来ませんでした。3次予備までにワークについてもう1度復習して、どんな天候でも確実に速くワークができるようにしたいです。



(理1 55期 笹原貴志)

今年の二次予備は毎年恒例の比良山にいったのですが、あいにくの雨となってしまいました。一回生もそろそろワングルの雰囲気慣れてきた頃でしょうか。歩荷量もやっと一人前(?)になったと思います。2日目はなんとか雨は止みましたが、風邪をひいてメンバーカットになった人も・・・。何だかんだで、事故もなく無事に今年の二次予備も終わりました。

(基2 54期 金里征治)

去年は怪我でメンバーカットだったので、二回生にして初めての二次予備合宿だった。一日目は大雨だった。出発する前からザザ降りだったので気分は最悪。さらに西尾が体調を崩しているが、食当なのでメンバーカットできないという状況。ただただ僕はこの合宿が早く終わってくれないかなと思いながら歩いていた。



この二日間はほんと一日一日が長く感じられたし、実際、山行時間はかなり長かった。ゴア着いても雨がきつすぎて下着はぐしょぬれになるし、泥だらけになるし、体中ダニがわいたのか全身がかゆいし、早く帰って風呂に入りたいと思っていた。正直合宿後の王将での打ち上げなしでもいいから風呂に入りたかった。さらにこの合宿中は嫌々やっていたせいか頭がおかしくなっていた。普段からイカれているが、このときはもっとおかしくなっていて冷静に考えることができなくなっていた。まあ、でも今後の人生どれだけ辛い目、痛い目、悲しい目にあわなければならないかということを考えれば、今回の合宿は、練成合宿という意味の他にも何か意味があったのではないかと思った。

(工2 54期 馬庭泰介)

久々の雨の中の山行！！足場は大量の水が流れ、山靴はグショグショ、脱いでみると足はジワジワでした～(笑)それでも去年の灼熱地獄から考えると、雨は天からの恵みでした♪大谷さんの雨も滴る良い男も見れたしねー・久しぶりに脇坂さんとの山行も出きたしねー・謎かけもいっぱい出来たしねー

(工 2 54 期 東野正和)

2010/7/10 夏祭りの思い出
～1回生は仲が良いね☆夏祭りお疲れさま～

夏祭りは、毎年箕面キャンパスで行われている、外国語学部のお祭りです。外国語学部の学生たちが、それぞれの専攻語にかかわる国の民族料理などを屋台で出店しています。そのほかにも、地元の団体による太鼓の演奏やダンス、盆踊りなどがあり、さらに箕面市長も参加して大変盛り上がります。

私たちは外大ワンゲルからの伝統で出店しています。今回、私たち 55 期は焼き鳥の屋台「わたりどり」を出しました。焼き鳥を選んだ理由は、「ワンダーフォーゲル→渡り鳥→鳥→焼き鳥」という単純な理由からでした。しかし麻雀をたしなむ先輩方から、「やきとり」という単語を忌み嫌われて反対され、どうなることかと思いました。しかし無事に 400 本を完売することができ、本当によかったです。責任者として至らない点が多く、たくさんのお力添えをいただいたことを、この場を借りてお礼申し上げます。

(法 1 55 期 野田英明)

=====

6月から企画、手続き、ポロシャツ作りなど大変だったうえ、ちゃんと焼鳥が売れるのか、お金は足りるのかなど不安がいっぱいでした。しかし 14 人いる一回生の間で協力し合ったり、先輩たちに助けられたりしたので、むしろ楽しく、そして仲間がいる喜びを感じながら作業できました。これからも共に活動する同輩たち、これからもお世話になる先輩たちとの絆を深めながら過ごすことができた夏祭り、本当にいい思い出になりました。

(基 1 55 期 瀧澤洸)

夏祭り当日は割と暑く、店の位置的にも不利だったので完売できるか不安でしたが、みんなの呼び込み等のおかげで早く完売できてよかったです。外国語学部の祭りだったので変わった食べ物もたくさんあり、他の出店を見て回るのも楽しかったです。

(基 1 55 期 大江康子)

午前中は売れ行きも悪く、一本 50 円と連呼しても人が通り過ぎていくばかりでしたが、1 時を過ぎたころから売れ始めてストックの調整に苦労するようになりました。焼きすぎでいくつか駄目になってしまうのは織り込み済みでしたが、火が串に燃え移って串が折れたのは完全に想定外でした。暑い中でしたが、一回生全員の努力と先輩の大量の差し入れもあって楽しく作業できたと思います。

(基 1 55 期 武内基彦)

3次予備・夏合宿の予定
～この夏、いってきます～

●3次予備合宿

1 パーティは白山へ行ってきます。1 日目は三ノ峰登山口から入って一ノ峰までピストンし、三ノ峰避難小屋で1泊。2 日目は別山から御舎利山を經由して南竜ヶ馬場で1泊。3 日目は黒ボコ岩、甚之助避難小屋を経て別当出合に下りてくる予定です。12 人の大所帯ですが、仲良く団結して楽しく行ってきたいと思えます。

(医 2 54 期 田村真佐美)

2,3Party は燕・常念に行きます。行程は3年前と一緒に中房温泉から燕山荘まで登って、燕岳をピストンして1泊。2 日目には大天荘まで歩いて大天井岳をピストンした後、常念小屋まで歩いて1泊。最終日は常念岳をピストンしてヒエ平に下ります。一回生にとって初の日本アルプスとなるので、山の楽しさを知ってもらえたらいいなと思っています。

(基 2 54 期 坊ヶ内渉)

●夏合宿

1Party は南アルプスの北岳に登ります。北岳は53期が一回生の夏合宿で登った山で、自分たちにとっては思い入れの強い山域です。日本で二番目に高いこともあり、これからのワンゲルを支える後輩たちの心に強く刻まれることを期待しています。

2,3Party は北アルプスの槍ヶ岳や双六岳を登る予定です。両 Party は上高地から入山し、2Party は薬師岳の方に縦走し、3party は笠ヶ岳の方に縦走する予定です。こちらでも大変魅力のある山域で、男らしい槍ヶ岳から、多くのことを感じ取ってくれることでしよう。一生に何度もないこの経験を大事にして楽しんでいきたいと思えます。

(法 3 53 期 藤村治輝)

部員紹介
～★53期リーダーズ Part2★～

前回に引き続き、リーダーさんの紹介です。今年度のリーダーズ残る4名はどのような方々なのでしょう？井田君お願いします。(以下敬称略)

●大谷良

一般的に男くさい、むさくしいというイメージが専らの我が部に、彗星のごとく現れた美しすぎるワンゲラー。後ろ髪を束ねて、サイドをピンで止める小柄な彼の姿は、さながらメッチェン。自他認める“イケメン”キャラで無垢な部員たちを翻弄します。

そんな大谷さんの山行必需品は“デジカメ”という名の凶器。後ろから気配を感じたら要注意！時既に遅しであなたの横顔はフィルムに収められていることでしょう。ある意味傍若無人なその発言録はあまりにも膨大なので、ここでは披露は一部にとどめておきます。「ボクってイケメンやろ☆」。



●佐野雅也

53期は小柄なひとが多いですね。佐野さんも特にそうです。そうそう最近、伸ばして髭と一体化していた髪をバツサリ切りました。髭が濃くて羨ましいです。千年の古都から毎日都落ちして大学に通っている彼は、普段はうつくしい京都弁を用いた穏やかな語り口調ですが、ひとたび山に入れば、活弁で賑やかなキャラに変貌します。生物科学科であるだけに、自然あふれる山道では頼まずとも草花の名前を親切に教えてくれます。燦然と輝く彼の絵の才能は、部室の落書き帳の随所で見つけることができますよ。



●篠崎拓也

抜群の絡みやすさ、極度に低すぎる笑いの沸点、フットワークの軽さ、年中日焼け気味の肌に定評のあるしのぎきさん。出身地を調べたら、意外にも九州男児であることが判明。彼は適当主義者ではありますが、いい加減というわけでは決してありません。箕面の寮在住で、学部は吹田、そして豊中キャンパスの部室にも頻りに顔を見せるという目まぐるしい日々を過ごしています。せっかくの休みの日には、山登りもいいけれど、シネフィルな彼と一緒に屋下がりに映画館に行かれるのも一興かと思われれます。是非どうぞ。



●鈴木翔吾

見た目も中身も大人な鈴木さんは、部いちばんの長身。ピークに佇めば、恐らく彼はその場にいる誰よりもトップに君臨していることになりましょう。無類の読書家でいらっしゃる彼の長期合宿必需品は、やはり数冊の単行本です。いやはや理系の鑑ですね。照英ばりの凜々しい顔で読書をしている姿はまさにクール。かと思えば、錬成合宿で読図ポイントを誤ってばらしてしまうというお茶目な過ちもメンバーの記憶に新しいところ。チャリ合宿に行くならば鈴木さんと行くっきゃない！！



=====

今回の渡鳥通信はボリュームアップでお届けしましたが、いかがでしたか。6月号では多くの方にアンケートに答えていただき、ありがとうございました。山でおいしかった料理について伺ったのですが、サバ缶を使った炊き込みご飯や、すし太郎やチキンラーメンといったレトルト物(山で食べると格別!!)、キジメシという謎の定番料理、栗ごはん、クラムチャウダー、肉まんなど、皆さん色々なものを挙げてくださいました。やっぱりワングルスープが1番!といった意見も多かったです。中には、食紅で赤く染まったごはんにはゲンナリした、という思い出を語ってくださった方もおられました。様々なご回答、ありがとうございました!! 現役一同、面白く読ませていただきました。

次回では3次予備・夏合宿の報告ができると思います。ご期待ください。

最後に、再びアンケートのお願いがあります。『ワングルをやっていて良かった!!』と心底思った瞬間はありますか?それはいつですか?返信はこちらまで。ぜひご協力をお願いします。

<http://ouvv.org/mailmagazine/gallery1008.html>

合宿写真のギャラリーページはこちらから

<http://ouvv.org/enquete/enqform1008.html>

メルマガ委員: 井田峻太、田村真佐美